

提案団体名： (株)NTTデータ経営研究所、マツダ(株)、川西自治連合会

○提案内容

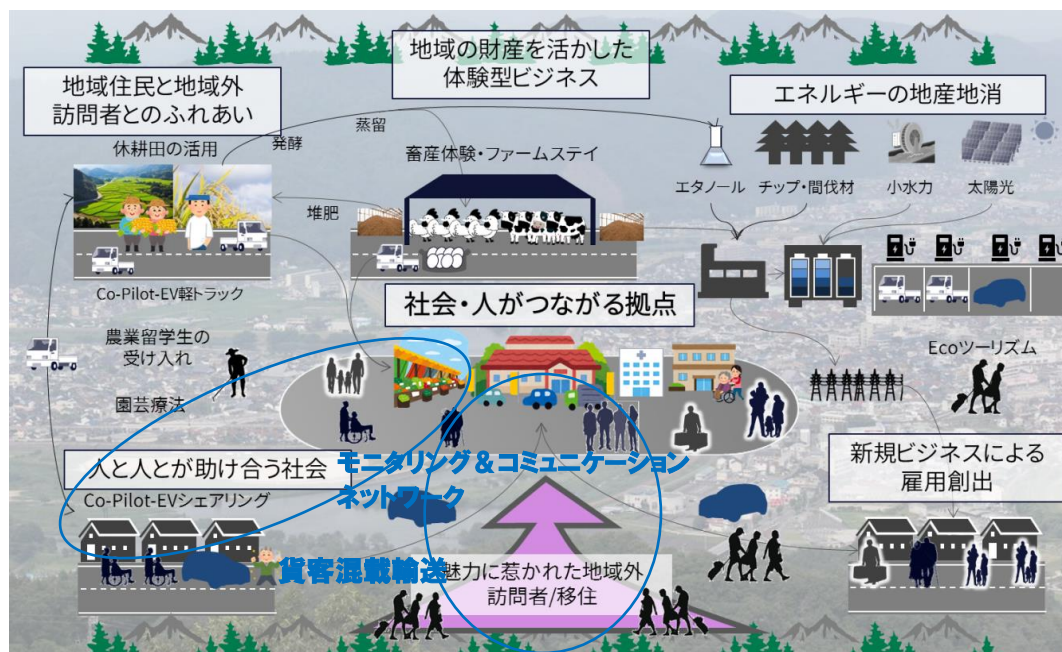
(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください	
技術の概要・実績等	技術の分野
<p>利用を想定している技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ○太陽光発電 ○EV用使用済みバッテリー(EVバッテリーの2次利用) ○車載通信技術 ○モニタリング&コミュニケーションネットワーク ○EV 等 <p>上記の技術を利用して行う活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象とする三次市三若町川西地区の以下の地域課題の解決を図るための活動。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化の深刻化に伴い、異動困難な高齢者等の増加という課題に対応するため、全ての人が自由に安心して移動できる支え合い交通システムの構築。(ライドシェア等) ・ 地域住民参加型の地域を支える事業体の収益安定化を図るため、人の移動と貨物の移動を一体化するなど事業体が提供するサービスの付加価値化。(貨客混載輸送等) ・ 増加する災害等に対応するため、災害時等においてもエネルギーを安定的に確保可能で、かつ地球に優しい分散型再生電力システムの構築。(太陽光発電と使用済みバッテリーの組合せ等) ・ 地域の活力と雇用の創出に向けて、地域内外の交流促進による地域活性化および、域外訪問者を誘致するコミュニケーションシステム(情報システム)の構築。(コミュニケーションシステム) ・ 将来的には地域内の独立した通信ネットワークを活用して交通/物流の効率化を目指すことで、地域の自立性を高めることも目指す。 <p>実績</p> <p>○2018年12月に三次市三若町川西地区及び作木地区にて、マツダの通信技術、安全技術を活用した地域支え合い交通(ライドシェア)の実証実験を開始。</p>	<p>(1)、(2)、 (3)</p>
(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ ※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください	
解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>解決すべき地域の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○少子高齢化が進む地域において、生活を維持していくためのインフラを含めた生活支援サービスを経済的に持続可能な形で実現していくための仕組みが必要。 ○地域の活力の維持のため、地域に働く場を創出し、若者等が地域に定着できる仕組みが必要。 ○既に住民参加の形で(株)川西郷の駅を設立し、小さな拠点として道の駅を運営中であるが、経済的に自立していくためには更なるビジネス基盤の確立が必要。 ○地球温暖化の抑制に向けた脱炭素型のエネルギー利用の促進、豪雨・地震等の自然災害の増加に対するレジリエンスの確保等のため、再生可能エネルギー等の分散型エネルギーを利活用したレジリエンス対応の仕組みが必要。 <p>解決のための仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○再生可能エネルギー+蓄電池(使用済みEV電池の2次利用)を活用したエネルギーの地産地消化によるエネルギーコスト低減・レジリエンス対応の強化を図るとともに、支え合い交通システムによる地域内移動活発化による地域経済活発化を図る。 ○支え合い交通システム等による人の移動とあわせて、宅配貨物等の輸送も同時に行うこと等により貨客同時輸送を実現し、住民参加型の地域支援事業体の収益モデルの構築を図る。 ○上記取組みを主に地域の魅力を対外的にアピールすることにより域外訪問者の増加を図り、更なる地域経済活発化を図る。 ○将来的には、地域内の独立した通信ネットワークを活用して交通/物流の効率化を目指すことで、地域の自立性を高めるとともに更なる地域経済活発化を図る。 	<p>(ア)、(イ)、 (ウ)、(エ)、 (オ)</p>

(3) その他

想定しているイメージは下図の通り。

○将来的には、志を共にするパートナー企業を増やし、更なる地域の活性化(地域創生)を図ることを目指す。

○究極的には中山間地域モデルとして、同様な課題を抱える地域への展開を図りたい。



○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
(株)NTTデータ経営研究所 社会基盤事業本部 社会・環境戦略コンサルティングユニット	益田 浩	090-1600-0089	masudah@keieiken.co.jp